

2013 年度新卒視能訓練士就業調査状況調査 調査結果

目的：今後ますます増加する視能訓練士の就業状況を把握するために調査実施する。

対象：第 44 回視能訓練士国家試験合格者を輩出した全国の視能訓練士養成施設 27 校のうち 26 校に調査依頼。

平成 26 年 3 月新卒視能訓練士就業状況調査結果

調査協力施設 大学 7 校 専門学校 19 校 全 26 校

就職先区分	大学	専門学校	全体	比率 %	前年度増減数
1. 国立高度専門医療センター (ナショナルセンター)	1	0	1	0.1	1
2. 国立大学法人	15	15	30	4.4	10
3. 独立行政法人国立病院機構	1	3	4	0.6	▲5
4. 公立医療機関 (都道府縣市町村の病院及び診療所)	7	22	29	4.3	10
5. その他国立系の病院	0	0	0	0	0
6. 公立大学病院	2	7	9	1.3	▲1
7. 公立に準ずる病院及び診療所	5	9	14	2.1	4
8. 私立大学病院	27	18	45	6.6	▲5
9. 私立病院 (他科もある病院の眼科)	34	58	92	13.5	2
10. 私立眼科病院	13	50	63	9.2	19
11. 眼科診療所 (医療法人及び個人)	123	241	364	53.4	80
12. レーシックセンター (レーシックを主にしている眼科診療所)	0	0	0	0	0
13. 視能訓練士の学校または養成所	0	1	1	0.1	0
14. 大学院	3	0	3	0.4	2
15. 福祉関係	1	0	1	0.1	0
16. 病院・医院以外の医療関係企業	1	2	3	0.4	▲1
17. 医療関係以外の職業	0	2	2	0.3	2
18. 就職せず	7	13	20	2.9	14
19. 他大学	0	1	1	0.1	1
20. 他専門学校	0	0	0	0	0
合計	240	442	682		133

小数点第 2 位四捨五入

2014 年 8 月現在

視能訓練士需給計画委員会実施

今回の調査結果について

1. 新卒視能訓練士数

新卒視能訓練士数（国家試験合格者数）は2011年度636名、2012年度544名、2013年度（2014年3月卒業生）は731名で昨年度より186名増加しました。国家試験受験学校が増加したこと、また新卒の合格率が2012年度は77.3パーセントであったのが2013年度は93.8パーセントとなったことが理由と考えられます。

2. 就職先

開業医への就職は2011年度331名（52.1%）、2012年度284名（51.7%）、2013年度364名（53.4%）となっています。2010年度は312名（49.3%）でした。2011年度から新卒視能訓練士数の半数を超えています。増加傾向は今後も続いていくと考えられます。

2013年度は次いで私立病院（他科もある病院の眼科）92名（13.5%）、私立眼科病院63名（9.2%）、私立大学病院45名（6.6%）と続きます。

国立・公立関連は、定員化増を推進していく必要性があります。

3. 就職意識

「就職せず」が2011年度17名（2.7%）2012年度6名（1.1%）2013年度20名（2.9%）となっています。視能訓練士として就職しない新卒視能訓練士が2012年度は比率が減少しましたが、2013年度は2011年度とほぼ同様の結果となりました。国家試験結果発表後に就職活動をし、この調査時期にまだ就職が決まっていなかった学生も含まれていると考えられます。

見事国家試験に合格された731名の新卒視能訓練士のみなさま、合格おめでとうございます。視能訓練士として就職をされた659名のみなさま（今回の調査による）就職おめでとうございます。夢と希望に燃えて視能訓練士業務を遂行されていることでしょう。視能訓練士協会の生涯教育等を通じて自己研鑽を積んでくださることを願っています。

開業医への就職が3年連続5割を超えました。地域医療に根ざした視能訓練士としての活躍を期待いたします。

需給委員会では今後も調査を続け、更なる視能訓練士の需要拡大を目指していきます。

今後とも、皆様のご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

視能訓練士需給計画委員会